

事業名	アマノリ養殖概況
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当) 岡本裕太
共同研究機関等	

<目的>

本県のアマノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共同販売実績を整理した。

<結果>

例年どおり育苗～本養殖が開始されたが、秋芽網の生産は不調であった。本養殖開始から1月末までクロダイによる食害の影響が大きく、まとまった生産には至らなかった。県北漁場では、漁期を通して栄養塩が安定して高い水準にあり、色落ちは見られなかった。県南漁場では漁期の前半は栄養塩減少に伴う色落ちが続いたが、後半には色調が回復傾向であった。

令和5年度漁期の生産枚数は24,875千枚で前年比122%と上昇した。色調が比較的良好だったことに加え、有明海などの主要な生産地が不作であったことを受け、平均単価は19.06円/枚と前年比142%に高騰した。

<今後の課題>

得られたデータから不作原因を推定し、養殖指導の材料とする必要がある。

<次年度の計画>

引き続き、生産状況の把握に努める。

<結果の発表・活用状況等>

特になし

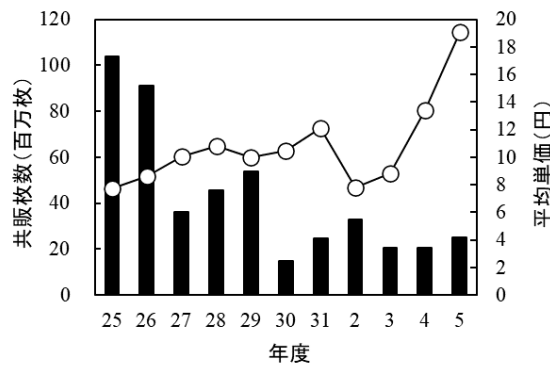


図1.年度別共販枚数と平均単価の推移

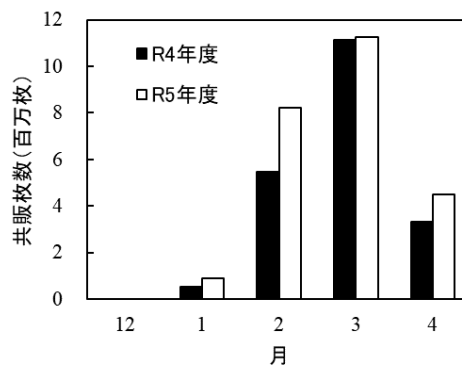


図2.共販枚数の経月変化